

山行番 NO. 1618
日時 2014.11.22(土)～23(日)
山域 山梨・金峰山(2599m)表参道
標高差 上り 荒川渡渉点約1800m～金峰山2599m＝約799m
下り 金峰山2599m～大弛峠約2350＝約249m(やや上りあり)
参加者 L後藤、勝又陽、浜道、庄野＝4名
タイム 22日＝下土狩発14:30－アコウ平着18:30(テント泊)
23日＝起床5:00－アコウ平発6:56－荒川渡渉点7:19－旧御室小屋
7:49－片手回し岩8:28－五丈岩10:07－金峰山10:20
－鉄山－朝日岳－朝日峠11:57－大弛峠12:25

22日(土)晴

山梨の労山、Y山の会の会報に気になる記録があった。それは「金峰山表参道」。金峰山登山は、これまで西面の瑞牆山荘、北面の金峰山荘、東面の大弛峠(私は、こんな墮落??した所から上っていない)が殆ど。しかし、南面に登山道があった?目からウロコだった。

調べてみると表参道は、かつて金峰山南面の登山道。信仰登山で盛んに上られていた。ここは、昇仙峡がある黒平集落から、黒平～水晶峠～御室小屋を辿る。かつて、深田久弥も百名山登山の際、ここから上った。

今回私たちが上ったコースは、言わば表参道全コースの上部四分の一程度のインチキコース。従っていつか時間・気持ちがあったら是非、黒平から上るべきであろう。

早朝発は辛いので前日午後発。練馬から参加のSさんは、アコウ平で既に出来上がっていた。すぐテントを張り夕食。最初は、焼き物大会。目刺し・タン・キノコ類。特にSさん持参の「マツタケ」は、外国産だったが流石に美味しかった。

当然、酒はガンガン進んだ。仕上げは、トン汁とオジヤ。オジヤは食べやすくてイイ。食後は早めに就寝。22時ころ長野で地震があったらしいが、全員全く気が付かなかった。Hさんのみ、朝の報告で気が付いようだ。

23日(日)無風快晴

夜は相当に冷え込んだ。無理もない。アコウ平は、標高約1950mもある。単純計算で下界より-12度。それでもテントの水が凍る程ではなかった。5時前に起床し朝食を済ませ、大弛峠までトイレに行く。道路の雪は薄らある程度で普通タイヤで問題はなかった。

再びアコウ平に戻り7時前に出発。天気は無風快晴。体調はイイ。やっぱり当日発より体は楽だ。良く踏まれた道を荒川に下る。すぐ古の軌道跡があった。今の若い人は、この軌道が何であったか知らない。

荒川渡渉点には、ロープが張られ簡単な丸木が渡してあった。丸木は所々凍っていた。水はガンガン流れているので落ちたらアウト。まずは慎重に歩を進める。道はここから御堂川に沿って西に向かう。テープは沢山あり迷うことはない。この先で流れのない御堂川に降りる。こ



アコウ平



軌道跡



金峰山遠望



荒川を渡る



旧御堂小屋



こで正規の表参道に出た。表参道は、ここから水晶峠を経て延々と黒平まで下っている。昔は日帰りが無理なので、この上の旧御堂小屋に泊まった。涸沢をしばらく上ると、旧御堂小屋があった。既に屋根は落ち壁も崩れ、雨宿りも出来ない状況だった。かつては、表参道登山者で大いに賑わっていただろう。小屋裏の神社跡の基石だけが、古の栄光を物語っていた。この辺りは、「山梨森林100選」で、ネズコの森だった。ネズコは別名、クロベ（黒檜）と呼ばれるヒノキ科常緑高木。

小屋裏から物凄い急登だった。すぐ、ちょっとした岩場に出る。花崗岩のイイ岩だった。しっかりした鎖が張ってあるので問題ない。更に急登は続く。この上にジュラルミン製の立派な二つ梯子があった。まだ新しかった。このコースは、エアリア・マップでは、破線になっている。要するに「一般道」ではない。しかし、これだけ手が入っているのは、地元がそれなりに存在価値を認め、登山道維持に努力しているのであろう。

途中に「片手回し岩」があった。巨岩の上に巨石がバランスよく乗っていた。昨夜の地震にもビクともしない。ただ、残念ながら上るには相当の覚悟が必要。綺麗なコケが続くイイ感じの柵森を抜けると、先ほどからチラチラと仰ぎ見る五丈岩が俄かに大きく迫って来た。



岩場



長い梯子

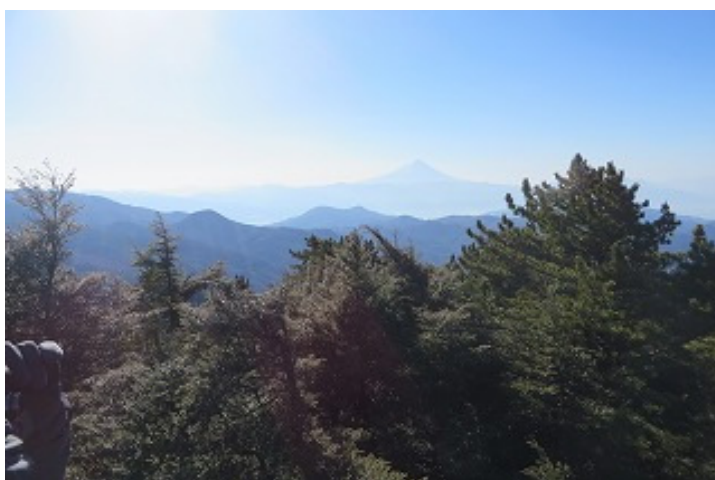
片手回し岩



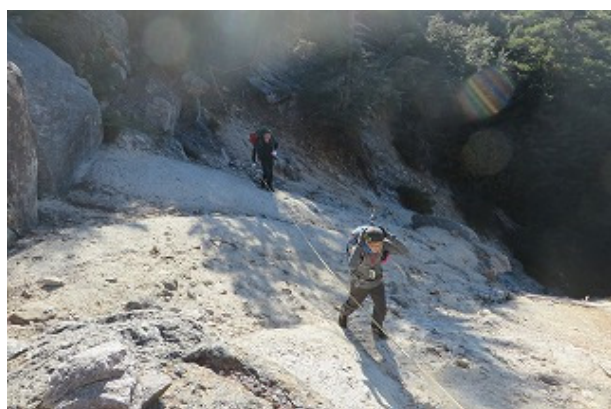
五丈岩を仰ぐ



富士山遠望



ザレ場に行く



五丈岩を良く観察すると「お地蔵様」に見えた。ちゃんと頭巾を巻き、目・鼻・口もある。これは楽しい発見だった。しかも、その右手には、大きな「カエル」が鎮座していた。これまた、ギョロ目が突出し可愛かった。(笑い)



五丈岩はお地蔵様に見える！！

ザレ場を抜けると樹木は次第に矮小化し、展望は素晴らしいものになった。振り返れば南に富士山、西に南ALPSが紺碧の空に眩しかった。花崗岩の摩擦が利く大岩を縫って上る。登山のハイライト。サイコーの場面だった。五丈岩に到着。丁度3時間だった。基部で早くも「芋煮うどん」をやっているパーティーがいた。

頂上付近は多くの登山者で賑わっていた。殆ど、大弛峠からの登山者。峠から上り易い故、人気があるのだろう。しかし、他人をとやかく言いたくないが、大弛峠からでは、いかんせん安易過ぎる。12時過ぎ、ヘッドランプ持たない方、ザックを背負っていない二人連れのオジサンとか、様々。

KとHは五丈岩に挑んだが無理をせず三分の二で降りた。正解だ。頂上は西風が冷たかった。余りに混雑しているので早めに下山。途中、相当腹が減ったので昼食。ビアを頂いた。その後、鉄山・朝日岳を上り返して、大弛峠着。物凄い車の数で、林道を遥かに下った脇にも駐車してあった。これでは、表参道が早い??!! (笑い)

アコウ平に戻り日当たりの良い場所にシートを広げ、今朝のオジヤの残りど、Sさん差し入れのイギリスのビアを頂く。双方美味しかった。翌日、奥様と銀座?で買い物のSさんとは、ここで別れた。Sさんとはこの後、仙丈ヶ岳地蔵尾根をヤル予定。山梨の山は静岡から近くてイイ山が多い。もっと上って良いだろう。

(了)